

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第62回)

丸くは収まらないマルウェア

2023.02.21



一向に収まる気配のないウイルスなどの感染被害。セキュリティ対策が重要なことは分かっているが、なかなか理解できないIT用語。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、セキュリティ対策をしていないと太刀打ちできない「マルウェア」だ。

「社長、ランサムウェアの被害が増えているみたいです。わが社もマルウェア対策を強化しましょう」(総務兼IT担当者)

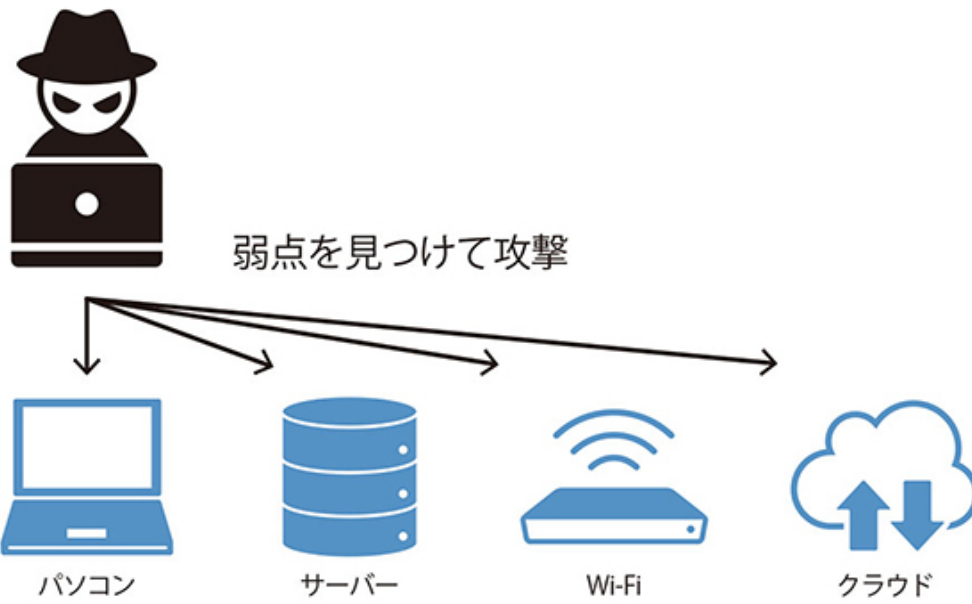
「そうだな、ワシもゴルフウェアを新調しようと考えていたところだが、なんで対策が必要なんだ」(社長)

「服装の話ではありません。マルウェアはコンピューターウイルスなど悪意のあるプログラムのことです。ちゃんと対策をしないと情報漏えいのリスクが高くなるんです。お客さまの情報を漏らしたら大変です」

「情報が漏れたら業界仲間とゴルフもできなくなるな。早く対策をきなさい」

被害を与える悪意のプログラム

マルウェアは、英語の「malicious(悪意のある)」と「software(ソフトウェア)」を組み合わせた造語で、「悪意のあるプログラム」を意味します。ファイルなどに感染して被害を与えるウイルスや、正規アプリなどに偽装してパソコンを不正操作するトロイの木馬、クレジットカード番号などの個人情報を盗み取るスパイウェア、データを暗号化して身代金を要求するランサムウェアもマルウェアに含まれます。マルウェアにはさまざまな種類や感染経路があり、被害の影響も端末からネットワークまで多岐にわたるため、幅広い対策が必要です。



マルウェアは、パソコンやサーバー、ネットワークなど多様な経路で感染する

Q マルウェアの被害にはどんなものがありますか… 続きを読む